

「輪島港の昭和の写真」を募集

～昭和の姿を振り返り、将来の輪島港に思い巡らせましょう～

能登半島沖は、古くから日本海を航行する船舶の難所として知られており、北前船の時代も輪島港は寄港地としてだけでなく「避難港」として利用されてきました。昭和26年には、法律上の「避難港」に指定され、それ以降、船舶が避難するために必要な防波堤の整備が進められてきました。今年、この避難港の指定から60年目を迎えます。

現在では、昨年5月に旅客船岸壁が完成し、大型客船が入港したり、各種イベントで賑わったりと、昭和の輪島港から大きく様変わりしています。

今回、この「避難港指定60周年」を契機に「昭和の輪島港」を振り返ることにより、これからもますます発展が期待される輪島港に思いを巡らせる取り組みを企画しました。

お寄せいただいた写真は、輪島市役所などで展示したり、輪島港の変遷をパンフレットなどにまとめて、多くの市民の方々にご覧いただけます。(※展示会等のご案内は、下記ホームページに掲載します。)

【展示等のご案内】 <http://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp/>



【応募要領】

■応募期限 平成23年10月3日(月)

■応募していただきたい写真

○輪島港の港湾施設(防波堤、岸壁など)が写っている昭和時代に撮影された写真を募集します

■応募方法

○応募は、原則として、1人5点までとします(ただし、応募者は、国内在住者に限ります)

○応募写真は、プリントされたものに限り(ネガフィルム、スライドは対象外です)

○応募票は、写真一枚ごとに記入し、写真と同じ封筒に入れて、下記応募先まで郵送してください

○応募に係る郵送費用は、応募者が負担してください

○送付中の事故や破損については、その責任を負いかねますのでご了承ください

■応募写真について

○全応募写真の使用権は主催者に帰属し、展示、印刷物、インターネットなどへ無償で使用させていただきます

○被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任を負いかねますので、応募にあたっては必ず被写体本人の承諾を得てください

○応募作品の取扱いには十分注意しますが、万一の事故に対する責任を負いかねますのでご了承ください

○応募数が多い場合は、全てを展示等できない場合があります

○応募写真は、平成24年3月頃までに返却します



主 催：国土交通省北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所

共 催：石川県

協 力：輪島市、輪島商工会議所、JFいしかわ輪島支所

【応募先・お問い合わせ先】

〒920-0331 金沢市大野町4丁目2の1

金沢港湾・空港整備事務所 企画調整課

TEL 076-267-2241 E-mail kanazawa@pa.hrr.mlit.go.jp

き り と り

応 募 票	
住 所	〒 ー
氏 名	※展示等を行う場合は、所在市町村名及び氏名を公開します
年 齢	満 歳
電話番号	
撮 影 年	昭和 年

※複数応募される方は、お手数ですがこの応募票を複製してご使用下さい